

DO FOR OTHERS
150TH
ANNIV.



MEIJI GAKUIN
UNIVERSITY
明治学院大学

マスコミ関係各位

2009年11月11日

明治学院大学 心理学部 教育発達学科 2010年4月開設

～こころを育て、子どもを支える～

現代社会では、不登校やいじめ、発達障害といった、学齢期の子どもたちを取り巻く心理的な課題が山積しています。これらの課題の解決には、従来の心理学の枠組みだけでは限界があり、乳幼児から児童期、思春期に至る子どもの発達を深く理解しながら、生活全般を視野に入れた包括的なアプローチが必要です。

明治学院大学では、このような社会の要請を踏まえ、心理学部に「教育発達学科」を新設いたします。

「教育発達学」は、心理学、教育学(初等教育)、障害科学を融合した明治学院大学独自の新しい学問体系です。

これは、乳幼児から高齢者までの生涯にわたる人間形成をめざし、心の発達や障害に関するメカニズムの理解を基礎としたうえで、系統的な教育及び教育システムのあり方について科学的に探究する学問です。この学修を通じて、現代社会に生きる子どもたちが抱える様々な課題解決に資する力、心理支援力※1、発達支援力※2、教育実践力※3 を習得させることにより、子どもの心を理解し、育み、成長を支える教員、そして新しい学校教育の創造を目指す教員を育てます。(小学校と幼稚園、あるいは小学校と特別支援学校の教員免許取得可能)

明治学院大学心理学部は、「こころを探り、人を支える」を教育目標に、認知、社会、発達心理学等の心理学、障害児・者心理学、カウンセリングを含む臨床心理学を学修し、人を支える実践力の習得を目指してきました。また、基幹科目「心理支援論」を4年間の学科必修科目とし、心理支援力の育成に力を入れてきました。心理支援力とは、自己理解力、他者理解力、自己コントロール力、関係形成力、他者支援力からなる人間力であり、教育方法として、コミュニティ資源を活用した体験活動、循環型教育システム(大学での講義と地域での体験活動を繰り返す)を採用し、この取り組みは平成20年度文部科学省「質の高い大学教育推進プログラム」(教育GP)に選定されています。

明治学院大学は、この心理学部の中に新しい学問体系に基づく「教育発達学科」を新設することにより、学齢期の子どもたちの心を理解し、子どもたちの心の成長を支援し、今日の学校教育や社会における課題解決に積極的に取り組む人材を養成します。

●教育発達学科説明会 2009年11月20日(金)15:00～17:00 白金校舎本館10階会議室

高等学校、予備校向け説明会。新学科の特色、カリキュラム概要のほか、内田伸子教授(お茶の水女子大学大学院)の講演あり。取材は下記まで。

注)教員免許については、現在課程認定申請中です。※1自分を理解し、他者を理解し、共感的に関係を築き子どもの心を支援する力、※2子どもの「心のメカニズム」と「心の発達」を理解し、子どもの発達を支援する力 ※3各教科の指導をはじめ、一人ひとり異なる子どもの学びをコーディネートする力

取材のお問い合わせは… 明治学院大学 広報室 担当:石井、圓道

〒108-8636 東京都港区白金台1-2-37 Tel:03-5421-5165(直通) Fax:03-5421-5185

koho@mguad.meijigakuin.ac.jp <http://www.meijigakuin.ac.jp>